

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870103870
法人名	有限会社 スローライフ
事業所名	ぐるうぷほうむ3丁目
所在地	松山市東野3丁目11-16
自己評価作成日	H22年8月12日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年8月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

民家改修型のグループホームのため、縁側で洗濯物を畳んだり、日向ぼっこをしたりと、その雰囲気十分に活用できるようにしている。庭が広く、季節の花を見たり、畑で野菜を作ったりして、季節感を感じられる。利用者さんと庭に植えている花を摘んで、食堂に飾ったり、野菜を収穫し、食事に取り入れたりしている。月に1回の勉強会で、職員一人ひとりが認知症についての知識を得る努力をしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●職員は、利用者が出来ることは行っていたりするような支援に心がけておられ、調査訪問時、ご自分で席を立てて家具やいす等につかまりながら、トイレに向かわれる利用者「気を付けてね」等、声かけをして、見守っておられた。トイレの棚には、カーテンを付け、利用者個々の介護用品等が見えないようにされていた。
●利用者と一緒に育てた畑の野菜を使って食事作りをされたり、庭で採れた梅で梅干を作っておられ、調査訪問時には、昼食に添えておられた。又、利用者の方が作った「ヨーグルト入りのキュウリのお漬け物」を出していただいた。食事中は、お隣の方にお茶を注いであげたり、残っているものをすすめてあげる利用者の様子がうかがえた。職員は、利用者と一緒に食事をしながら個々の状態を見て、食べやすく魚の身をほぐす等されていた。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 ぐるうぷほうむ3丁目

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏 名 増田 佳子

評価完了日 平成22年8月12日

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
I.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価)	
			事業所理念に沿って、職員みんなで、実践につなげている。地域に密着していけるように、努力していきたい。	
			(外部評価)	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	法人全体で「尊厳保持」「自立支援」を理念に掲げ、利用者一人ひとりの「人生の継続性」を大切にした支援を目指しておられる。管理者は「地域の中での暮らしを大切にしていきたい」と話しておられた。	
			(自己評価)	
			自治会に参加し、町内の清掃活動やお祭り等に参加し、地域の方との交流を持っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(外部評価)	
			地域の夏祭りに参加されたり、中学生の職場体験を受け入れておられる。法人代表者は今年度、自治会の役員をされており「秋祭り」の炊き出しのお手伝い等もされるようだ。お隣の方と日々挨拶をされ、庭にある畑の水道の水が、時に、長時間出ていること等を知らせてくださるようだ。	さらに、地域の方達に事業所のことや取り組みを知ってもらえるような取り組みをすすめていかれてほしい。管理者は、今後、利用者が「外出する機会を増やしていきたい」と考えておられる。地域の情報等も得ながら、利用者個々が地域の方達とかかわる機会を増やしていかれてほしい。
			(自己評価)	
3			施設の見学や相談等には、いつでも対応させて頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価)	
			運営推進会議は定期的に開催しており、地域の民生委員の方や利用者・ご家族にも参加して頂き、意見や助言を頂いている。それを基に、取り組みをし、サービス向上に努めている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(外部評価)	
			会議は、参加者に気軽に来てもらえるよう約30分の会議とされている。「100才のお婆ちゃんに会えるのが楽しみ」と言って参加くださる方もあるようだ。民生委員から「しいたけ栽培をしてはどうか」と提案いただいたことがきっかけで、利用者とも相談して原木を購入され、収穫も楽しまれたようである。職員も会議に参加して書記を担当されている。	ご家族や近所の方等、事業所にかかわりのある方達にも会議に参加いただけるよう、事業所側から積極的に声をかけてみてはどうだろうか。会議の意義や目的等を伝え、協力を得ながら会議をすすめ、いろいろな方のご意見をうかがってみてほしい。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	
			職員一人ひとりが、理解・把握する努力をしており、身体拘束をしないケアを実践している。 玄関や居室の施錠もしていない。	
			(外部評価)	
			毎月、職員ミーティング時に身体拘束についての勉強を少しづつすすめておられる。日中、玄関や勝手口等は鍵を掛けず、開けておられ、利用者が居室で過ごされる時の小さな物音にも、職員はそっと居室を訪ねるようにされている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員会議や勉強会で、虐待防止の話し合いや勉強を行っている。利用者を尊重した介護に努め、虐待の未然防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会で知識を習得し、勉強会の中で勉強する機会を持ち、職員全体が活用できるようにしている。成年後見制度に関しては、現時点では必要な状況ではない。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時は、利用者本人やご家族に十分説明を行い、理解し納得して頂いてから、契約をするようにしている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 特に機会はないが、ご家族が施設に来られた時に、近況を伝え、ご家族の意向や要望をお聞きし、反映・実践していくように努力している。 (外部評価) ご家族の来訪時や、来訪の少ないご家族の方には、電話で利用者ご本人の様子を伝えるようにされている。職員の離職や新しい職員については、ご家族から聞かれた時には伝えるようにされている。管理者は、今後、写真を利用者個々のアルバムにして、ご家族が来られた時に見ていただきたいと考えておられた。	ご家族の知りたいことを探り、情報提供されたり、意見やご要望を引き出すような取り組みの工夫が期待される。たとえば、掃除等の衛生面のことや職員の利用者への対応、又、職員の家族への対応等、ご家族が気になることやご意見をうかがうような機会を作ってみてほしい。ご家族の声をきっかけに、ケアサービスの質の向上に向けた取り組みにつなげていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			毎月の職員会議で、話し合いをし、反映・実施を行っている。	
			(外部評価)	
			6月に管理者の交代があり、管理者は職員との関係作りに取り組まれている。この一年間、職員の離職等もあったようだが、現在、管理者は職員の意見やアイデア・提案を聞き取り、取り組みを具体的にすすめていけるよう考えておられた。毎月、職員ミーティングを行い、ケア等の勉強会も続けて行っておられる。	「ホームをさらによくしていく」ために、運営者と管理者・職員で話し合ったり、職員が提案やアイデアを出しやすいような仕組みを作ってはどうか。職員の得意なことを引き出し、活かせる場面等も多く作っていかれてほしい。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			職員一人ひとりと個人面談をし、個人の希望や要望を聞き、職場環境・条件の整備に努めている。	
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			毎月、勉強会を行っている。また、研修を受ける機会を積極的に設け、職員が参加できるようにしている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)	
			外部の研修で、同業者との交流や勉強の場を提供している。	
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			入居前の面接で得た情報等を職員間で共有するようにしている。困っていることや不安なことを、話し合い、安心して過ごせるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等 が困っていること、不安なこと、要望等に 耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ご家族とよく話をし、意向や要望などを伺い、話しや すい関係作りに努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と 家族等が「その時」まず必要としている支 援を見極め、他のサービス利用も含めた対 応に努めている	(自己評価) 本人・家族と話し合い、介護の度合いや支援を必要と していることを把握し、他のサービス利用も含め、対 応するように努めている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場にお かず、暮らしを共にする者同士の関係を築 いている	(自己評価) 日常生活の中で、本人が出来ることは、時間をかけて でも自分でして貰い、困っていることにはさりげなく 手を差し伸べて、暮らしを共にする者同士の関係を築 く努力をしている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場にお かず、本人と家族の絆を大切にしながら、 共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 普段の会話の中に、ご家族の話題を取り入れてみたり 、外出の行事の際には、ご家族にもお誘いの声かけ をするようにしている。また、何かあった際には、ご 家族に報告をし、意見や要望を聞き、共に検討して、 共に支えていく関係を築くように努めている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人 や場所との関係が途切れないよう、支援に 努めている	(自己評価) 外出の機会が少なく、面会も少ないため、関係の継 続はあまりできていないように思う。近所の方や友人 が気軽に来て頂けるような環境作りをしていきたい。 (外部評価) ご家族から手紙が届いたり、時にはご自宅の近所の方 や友人が尋ねて来てくれることもある。利用者同士 で、体調の優れない方に添い寝をしてあげる利用者 や、食事がすすまない方を励ましておられる利用者の 様子がうかがえた。利用者が亡くなった時に、市外で 行われた告別式に参列された利用者もいる。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士が、関わりが持てるように、職員が間に入り、声かけ等をするように努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 必要に応じて、相談や支援を行うように努めている。	
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ご本人やご家族に希望や意向を確認し、本人の思いや意向を把握するようにしている。 (外部評価) 法人オリジナルの「困ったことシート」を作っておられ、職員が利用者個々の様子や気づき等を記入するようになっている。	 現在、いろいろな事情もあって、日々の介護記録等の書類は、事業所に2か月分のみ置き、その他は法人事務所で保管されている。管理者は、利用者のこれまでのことや思いを知るような書類や必要な書類については、揃えて置きたいと考えておられる。新しい職員等が入った際に、利用者一人ひとりのことを知るができるような方法等も含めて、検討されてほしい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居前に本人やご家族にお聞きしたり、生活の中で今までの暮らしぶりを伺ったりして、把握するように努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 日常の生活の中で、一人ひとりの生活の様子や、有する力などを観察し、現状の把握に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			本人がより良く暮らせるように、希望や思いを聞き、ケアに活かせるように、職員同士で情報の交換を行っている。ご家族にもプラン作成時には希望等をお聞きし、作成の際に反映するようにしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(外部評価)	
			職員ミーティング時に利用者の様子等について、話し合い、又「困ったことシート」の内容を踏まえて「実行可能な事を一つ挙げ」介護計画を作成されている。6ヶ月毎に計画を見直しされている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			本人や家族の状況に合わせ、要望に応えられるように、話し合いながら、柔軟な対応を行っている。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			地域の方や、民生委員、包括職員の方などに、アドバイスを頂きながら、安全で豊かな暮らしが楽しむことができる様に努力している。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 本人・家族の希望を大切に、かかりつけ医を受診で きるように支援している。家族と共に受診したり、職員 が付き添ったりして、情報提供を行い、適切な医療を 受けられるように支援している。	
			(外部評価) 利用者のこれまでのかかりつけ医を受診出来るように 支援されている。ご家族が受診に付き添われたり、職 員が同行することもある。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 職場内の看護師資格のある、職員や、同グループのG Hの管理者に、気付いたことや状況の変化を伝えたり、 どう対処したらいいかなど相談し、適切な受診や 看護を受けられるように支援している。	
			(外部評価) 入院時には、できるだけ顔を出し、病院関係者と情報 交換をしている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院時には、できるだけ顔を出し、病院関係者と情報 交換をしている。	
			(外部評価) 本人や家族と、十分に話し合いをし、希望に添えるよ うに環境を整えたり、主治医との連携が取れるように 取り組んでいる。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 本人や家族と、十分に話し合いをし、希望に添えるよ うに環境を整えたり、主治医との連携が取れるように 取り組んでいる。	
			(外部評価) 主治医の往診やご家族の来訪等も増やしてもらおう等、 協力いただきながらホームで看取られた事例がある。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 緊急時の対応マニュアルがある。職員一人ひとりが、緊急時に応急処置や対応ができるように、ミーティング等で勉強し、実践力を身につけるように努めている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 災害時の訓練を実施している。また、地域の方に協力して頂けるように、運営推進会議に参加して頂き、協力体制を築いていけるように、努めている。 (外部評価) 運営推進会議時、避難訓練を行っておられ、避難コースの確認や避難誘導の際の優先順位の確認等をされた。運営推進会議や自治会の集まり等の際、法人代表者は、いざという時地域の方達にも協力いただけるようお願いされている。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 月1回、認知症についての勉強会を行い、意識付けを行っている。一人ひとりの人格やプライバシーを尊重した、言葉掛けや対応を心掛けている。 (外部評価) 職員は、利用者が出来ることは行っていたり、ご自分で席を立て家具やいす等につかまりながら、トイレに向かわれる利用者に「気を付けてね」等、声かけをして、見守っておられた。トイレの棚には、カーテンを付け、利用者個々の介護用品等が見えないようにされていた。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 何かを行う際には、必ず本人に声をかけ、職員サイドで判断せず、自己決定できるように働きかけている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 本人の生活のペースに合わせた暮らしを送れるように、支援している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 本人の希望を聞きながら、好みに合わせた身だしなみができるように、アドバイスや声かけ等行っている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一人ひとりのできる力に応じ、職員と利用者が一緒に、食事を作ったり、片付けたりしている。 (外部評価) 利用者と一緒に育てた畑の野菜を使って食事作りをされたり、庭で採れた梅で梅干を作っておられ、調査訪問時には、昼食に添えておられた。又、利用者の方が作った「ヨーグルト入りのキュウリのお漬け物」を出していただいた。食事中は、お隣の方にお茶を注いであげたり、残っているものをすすめてあげる利用者の様子がうかがえた。職員は、利用者と一緒に食事をしながら個々の状態を見て、食べやすく魚の身をほぐす等されていた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとり生活健康記録表を作成、記録して、一日の食事量や水分摂取量を日々把握している。できるだけ野菜を多く取り入れ、偏りのない献立にするように心掛けている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後は、一人ひとりに応じた口腔ケアを実施できるよう、声かけや支援をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			一人ひとりの排泄記録表を作成、記録し、排泄のパターンを把握し、トイレの声かけや介助をしている。歩けない人も、トイレでの排泄ができるよう介助を行っている。	
			(外部評価)	
			利用者の状態はさまざまであるが、日中はトイレで排泄できるよう職員は声をかけたり誘導されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			食生活において、お通じが良くなるように食事の工夫をしたり、水分をしっかりとれるように配慮したりしている。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			一人ひとりに声かけをし、希望に合わせて、入浴ができるように支援している。職員の見守りのもと、ゆっくり入浴できるように配慮している。	
			(外部評価)	
			浴室はタイル張りで利用者の年代には懐かしさがあり、石けんやボディークリーム等、好みのものを使って入浴を楽しまれている。居室で洗面器やタオル等を準備してお風呂に入る方もいる。介助の必要な方は、職員が2名体制で浴槽で温まれるよう支援されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			一人ひとりの生活習慣や、体調や希望に応じて、安心して休めるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとりが使用している薬の、目的・副作用や用法・用量をしっかりと確認し、服用して貰うようにしている。処方箋はいつでも見られる場所におり、必要に応じて、主治医に指示を受けるようにしている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) したいことや、できることを、できる範囲でして頂き、張り合いが持てるように支援する努力をしている	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 長期入所で駆加齢と共に、下肢の筋力低下や車いすの方が増えて、外出が難しくなっている。できるだけ機会を設け、散歩や外出等に出掛けたいと考えている。 (外部評価) 受診の際には、道後や石手寺等にドライブして帰られることもある。庭の畑の水やり等に出る利用者もある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人の希望で職員と一緒に、買い物に出掛け、好きなものを購入できるようにしている。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人のからの申し出に応じ、電話をしたり、手紙を出したりできるように支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			自宅にいるような落ち着いた居心地の良い雰囲気作りに配慮している。毎朝、清掃し、清潔を心掛けている。	
			(外部評価)	
			民家改修型のグループホームで、庭の花木や玄関周りの雰囲気は、利用者の年代に懐かしい雰囲気がある。廊下の掃き出し窓には、取り外しが出来るスロープが用意されていた。庭の畑には、スイカが実り、トマトやネギ等の野菜が育っていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	
			各自、思い思いの場所で過ごせるように配慮している。食堂で、気の合う利用者と一緒に談笑したり、お茶を飲んだり、また、縁側でゆっくり過ごしたりと、好きなことができるような居場所作りをしている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			入居する際に、使い慣れた馴染みのあるものを持ってきていただき、本人が居心地よく落ち着いて過ごせるようにしている。	
			(外部評価)	
			タンス、衣装ケース、テレビ、扇風機、机等、利用者個々の使い慣れた物が持ち込まれていた。ご主人の遺影とお位牌に、毎朝手を合わされている方もおられる。入院中に、ホームの職員からもらった手紙や色紙を大事に飾っておられる方もあった。整理や掃除等についても、ご本人の心地よさを大切にされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	
			一人ひとりのできることや、分かることを把握し、様子を見ながら、できるだけ安全で自立した生活が送れるように工夫している。	